

2010.10.1発行 不老川流域川づくり市民の会 代表 相馬和彦  
 連絡先 04-2965-1741 <http://furougawa.mods.jp/>



「よく見て、何という魚かな？」 不老川魚類調査 at としとらず公園 7月18日

### 活きた川 魚類調査で感じたこと

こどもたちが川でピチピチ、生きがいい。そこで捕れた魚たちはもっとピチピチ、水槽から飛び出す。炎天下だが楽しさが溢れる。思いがけない光景だった。

今年3月の魚のトークイベントで、「不老川でも黒目川のようなモニタリング」という声が出て、今回の魚類調査となった。果たして魚が捕れるだろうか？の危惧もくつがえされた。どこから来たかはともかく、魚がたくましく棲み着いていることがわかった。まこと「川を魚に語らせよ」とはこのことである。

川は、沢山の人のいとおしむ目が注がれて良くなっていく。「魚も子どももいる不老川」が夢ではないことを、もっとみんなに知って欲しいし、川に来て欲しい。

それにしても、日本一汚い死んだ川が“活きた川”にと変わってきたのは、地元の人々や「不老川をきれいにする会」の長い年月をかけた浄化の活動があったからだ。近隣とつながって活動する大切さを感じた日であった。

(田上)



マメアサガオ

戦後の帰化植物。温暖気候を好むが、目下日本を北上中。不老川でも、2、3年前から目立ってきた。白い小さな花は実にかわいらしいが、繁殖力が強く、大豆畑に打撃を与えている。

# 予想外に魚がいた

山王小、山王中の子どもたち、保護者、そしてエコクラブのメンバーも加って、総勢40名近くが参加。

9時には子どもたちは川に入って遊びはじめる。10時過ぎ朝霞の小林さんによる最初の一振りの投網が、沢山の魚を捕らえ歓声上がる。予想以上の量である。何回かの投網と、子どもたちが網ですくったもので3コの水槽が満たされた。どれも元気いっぱい水槽から飛び出す勢い。1匹1匹の長さを計り川へ戻した。結果は右の表の通り。



7/18 10:00 ~ 11:00 晴れ 水温22

オイカワ	51	メダカ	1
カワムツ	8	アメリカザリガニ	10
モツゴ	8	ヌマエビ	3
アブラハヤ	2	スジエビ	1
ギンブナ	1	ミシシッピ	1
ジュズカケハゼ	1	アカミミガメ	

単位  
匹



オイカワが突出して多く、婚姻色も鮮やかな成魚も多数である。この結果をどう捉えるか。ともあれ、不老川は魚が棲みつき繁殖、生育できる川となっていることが見えてきた。今後も調査を続けていきたい。

< 山王小の保護者の方から感想が寄せられました >

## 色鮮やかな魚が！

村上 明里

大変暑い日でしたが、小学3年生の息子と初めて参加しました。たった一回の投網でたくさんの魚が取れ、それも色鮮やかな魚が多かったことに大変驚きました。

私が息子くらいの頃の不老川はとても臭く泡だらけで、魚なんてとんでもない、自転車が入っているような川でしたので、この数十年でとてもきれいになった事を実感しました。

食べられる鮎が生息するにはもう少し時間がかかりそうですが、川を汚さない生活をこれからも心がけたいと思う貴重な体験をさせていただきました。

ありがとうございました。



## 初めての投網体験

黒須 勇貴

今回初めて不老川の生き物調査に参加させていただきました。以前より、身近な川として子どもたちとコイにエサをあげにいたり、亀をつかまえたりと楽しく接してきましたが、皆さんの努力で、日本一汚い川から、ここまできれいな川にさせていただき感謝です。

又、初めて投網を体験し、最初は上手く拡がらなかったのですが、練習して、魚が獲れて子どもも大喜びでした。

又、機会があれば参加させていただきます。





## 不老川マスタープランの 進行状況

平成17年度から始まった床上浸水対策事業による河川工事は新河岸川合流地点から始まり、現在狭山工区まで進んで来ましたが、その河川改修の内容は安全を目指すものの、私たちの描く自然豊かな河川像にはほど遠いものでした。

この間、砂久保橋たもとのエノキや西武新宿線橋梁下流右岸の河畔林を残すなどの働きかけをして、何とか残すことができましたが、私たちの望む不老川像を体系立てて描き、計画として示すことができるようにと、不老川マスタープランの作成を2008年から始めました。

マスタープランでは、「不老川の概要」、「不老川の現況」、「マスタープランの周辺状況及び関連計画」とすすめ、「不老川の今後を描くために、景観、植生、周辺の人的活動及び歴史・文化、護岸の自然性（土・植生）親水性、湧水などの観点から16箇所をお宝として選びました。つづいて、不老川の今後をどうしたいかということでその未来像を描く作業であるケーススタディーの作業にはいり、お宝以外の重要な箇所も含めて14地点を対象を選び、その未来像を提案できるようにまとめます。最初は「礫間浄化施設」をとりあげ、客観的な評価方法に

よる合意形成の手法、外部へのアピール（説得）方法を確立することを目的としました。

現在、2番目の対象として狭山市入曽・南入曽（西武新宿線橋梁～山王橋の一つ上流のニセアカシアがたもとにある橋の下流部分まで）のケーススタディーを実施中です。この区間は七曲井という史跡があり、入曽橋から下流には両岸に樹木がふれあう程度のヒューマンスケール感のある場所となっています。キツネノカミソリなどの貴重な植生も見られます。

河川改修計画と現状の関係を確認するため、現地調査を行いました。結果として、改修計画通りの拡幅がされると七曲井に大きな影響が出ますし、両岸に生い茂る木々も無くなってしまふことがわかりました。このようなことをふまえて、この区域の良さである文化史跡や樹木、植生を残し、治水上の安全性も確保した新たな計画案が強く求められます。（中牟田）



改修計画の川幅は  
七曲井に食い込む

## 第11回 大森の池まつり

8月8日 約600名参加



若い親子連れが大勢参加、すっかり地域に定着した祭りになった。目当てのカヌーや水鉄砲作りに殺到し、午後の魚捕りも超満員。得難い体験の場が待ち望まれているということがわかる。

「生き物みつけ・虫とり」の呼びかけに親子が十数組集まる、網と虫かご持参で期待も高く...が、残念ながら草が刈られすぎ虫の姿が少ない。年1回の開放の日を、水辺を楽しむだけでなく、生態系豊かな自然を味わってもらえるような場にできないものだろうか。



虫はどこ？

## 山王塚市民緑地を

### 子どもたちの自然観察の場に

村手保子

七月初旬、山王小学校から依頼があつて、四年生十一人を山王塚市民緑地に案内した。山王塚に關つて五年目、子どもたちにこの林に親しんでほしいと思つていたので、とても嬉しい申し出であつた。

学ぶというより林の中で何かを感じたり、生き物に出会ふ喜びや驚きを体験してもらいたかつた。

北側の散策路に入つてすぐに、男の子がカブトムシの死骸を見つけた。彼らは蛙を追いかけて、虫こぶをのぞき、ツルウメモドキにはするすると登つていく。女の子は、蚊に刺されることを気にしていたが、ツリバナなど木や草の実や花を収穫している。クロアゲハがオカトラノオの蜜をすう姿をしばし眺めることもできた。コゲラが穴をあけた枯れ枝を見つければ、相馬さんの説明を聞いて持ち帰つた。まとめはできただろうか、どんな発表会になるのだろうか、参加してみたいと思つた。

子どもたちに季節の変化を体験させたいという校長先生の思いと同じく、私たちもこの林が山王小の生徒にとつて身近な自然観察の場になることを願つている。

様々な生物が生きるこの環境を維持するためには、この武蔵野の平地林がそうであつたように多くの手が必要だと考えている。



## おさそい

不老川歩いてゴミ調査

### 第2回 荒川クリーンエイド in不老川

and

### 不老川魚類調査

at としとらず公園

集 合：としとらず公園 9：00

持ち物：飲み物、魚捕り網・川に

入つていい靴（魚捕りしたい人）

参加費：100円（保険料）

問合せ：村手（2957-3425）

## 流域情報

床上浸水対策事業の継続の要望

「流域4市1町で構成する『不老川流域対策協議会（会長仲川狭山市長）』が埼玉県に床上浸水対策事業の継続を含め治水対策の要望書を手渡した」と埼玉建設新聞の記事があつた。早急な要望書の実現を期待する。

10/20 マップを持って入曽散策

Part3「入曽の西北に農の面影を求めて」上（かさ）新田やこかわを歩く。地元の方々のお話も予定。1：00入曽公民館集合  
問合せ 入曽公民館

11/6 飯能、朝霞、川越の3県土整備事務所と市民団体との懇談会。朝霞県土にて。川の再生事業の進行状況などの話題で懇談する。

## 川づくりに参加しませんか

定例会：毎月第3土曜日13：30～

年会費：1000円 詳細は下記世話人まで

人間市 相馬 04-2965-1741

狭山市 村手 04-2957-3425

所沢市 小黒 04-2923-8946

川越市 高木 0492-43-9828

## 編集後記

とんでもなく暑い、長い夏だった。動植物にとっても厳しかった。山王塚では、水分を欲しがるサワフタギやアブラチャンの葉がチリチリと枯れ、村手さんはハラハラし通しかった。これが例外的夏でありますように、そして、実りの秋が来ますように。（H.T）